

平成30年2月の北陸地方整備局管内の水文・水質状況

北陸地方整備局管内一級河川の主要な水文・水質観測所における観測結果及び水質事故の状況について発表します。

なお、掲載の数値は速報値であり、確定値と異なることがあります。
平成30年2月の概要は、次のとおりです。

○生活環境項目のBODは、環境基準値以下でした。

※生活環境項目BODは、各河川の主要な観測所についてコメントしています。

○健康項目のうち「鉛」が、関川の2地点で検出されました。うち、1地点で環境基準値を超過しました。

- ・直江津橋で、0.020mg/Lとなり、環境基準値(0.010mg/L)を超過しました。
- ・稲田橋では、0.006mg/Lでした。
- ・引き続き水質監視を実施していきます。

※2月21日、2月28日に関係機関(新潟県・上越市)と追加調査を実施しています。

○要監視項目で指針値を超えた地点はありませんでした。

○2月の水質事故発生件数は25件でした。

- ・北陸地方整備局に通報のあった水質事故は、25件でした。
- ・流出物質別では、油類23件、その他2件でした。
- ・事故原因別では、取扱い不注意が13件、機器の破損3件、その他9件でした。
- ・県別では、新潟県18件、福島県3件、富山4件でした。

※主な水質事故の概要は別紙のとおりです。

※本資料に関するデータ等については、北陸地方整備局ホームページにおいて提供しています。

(ホームページアドレス <http://www.hrr.mlit.go.jp/river/suisitu/suicon.html>)

取扱い

配布をもって解禁

同時資料配付記者クラブ

新潟県政記者クラブ
新潟県政記者クラブ
富山県政記者クラブ
石川県政記者クラブ
福島県政記者クラブ
長野市政記者クラブ
長野県庁会見場

— 問 い 合 わ せ 先 —

国土交通省

北陸地方整備局

水災害予報センター長 長谷川 賢市 (内線 3851)
課長 補佐 谷口 和哉 (内線 3853)

☎ 025-280-8880(代表)

025-370-6770(直通)

北陸技術事務所(水質分析機関)

品質調査課長 江川 康夫 (内線 351)

☎ 025-231-1281(代表)

025-231-8037(直通)

(別 紙)

北陸地方整備局に通報のあった主な水質事故の概要

発生年月日	水系名	河川名	原因物質と流出量 (推定量)	事故発生場所	事故の概要
2018/2/3	阿賀野川	側溝	灯油、800L	福島県喜多方市	ホームタンクにつながっている配管が破損しており、灯油約800Lが流出した。発生源の敷地内、周辺の側溝にマット設置し対応した。
2018/2/8	信濃川	稲葉川	灯油、250L	新潟県長岡市	ホームタンクからポリタンクへ灯油を小分けしていたところ失念し、約250Lが流出した。稲葉川で油臭が確認された。発生源者宅敷地、水路にマットを設置し対応した。
2018/2/10	信濃川	新川排水路	A重油、100L	新潟県三条市	落雪で配管が破損し、A重油100Lが側溝を通じ新川排水路へ流出した。重油が染み込んだ雪の除去、側溝へマット設置、新川排水路へフェンス設置するなどして対応した。
2018/2/10	信濃川	道満川	灯油、100L	新潟県長岡市	ホームタンクの栓が何かの拍子で開き、空になった。最大100Lの灯油が流出した。発生源者宅敷地内にマットを設置し対応した。
2018/2/10	信濃川	新道満川	灯油、150L	新潟県長岡市	ホームタンクから灯油を小分けした際、栓の閉め方が甘く、少量づつ、約150Lが流出。側溝にマットを設置し対応した。
2018/2/13	小矢部川	吉田川	工場排水、400m ³	富山県射水市	金属加工の事業所において、配水管の不具合により、一時的に基準値を外れるpHの工場排水が流出したと推定された。河川では異常は見られなかった。
2018/2/10	信濃川	刈谷田川	灯油、200L	新潟県長岡市	自宅の屋根の雪下ろしの影響で、ホームタンクの栓が開き、灯油約200Lが流出した。ホームタンク周辺、用水路等にマットを設置し対応した。